

「パラグアイでやる50のこと」

こんにちは、はじめまして。

サンペドロデルパラナ市派遣、家畜飼育隊員の千葉桃子です。

早いもので、日本を発ってから10か月が過ぎようとしています。

始めの頃は、

パラグアイ人：「パラグアイにいつ来たの？」

千 葉 : 「2か月前に・・・」

パラグアイ人：「スペイン語上手だね」

というのが今では、

千 葉 : 「10か月前から住んでいます」

パラグアイ人：「・・・スペイン語教えてあげようか？」

なんて言われる始末。

まだ日が浅いから・・・なんていう理由は通用しなくなってきました。

思い返せば着任してから今まで、活動以外はマテを飲み、アサードを食べ、テレレを飲んでいただけ！
と言っても過言ではない生活。

2018年の3月で任期終了を迎える私に残された時間はあと1年。

今のままでは、テレレで終わってしまう！

このままではダメだ！とふと思い出したのが、

巷で話題の「死ぬまでにやりたい100のことリスト」。

文字通り、死ぬまでにやりたいことを書き起こします。人生の目標みたいなヤツです。

ということでその場の勢いで作りました。

「パラグアイでやる50のこと」

活動のことから、ちっぽけなことまでざっと50個。

書いてみるとわかりますが、意外と50個って多いです。

1か月に4つ達成する計算になります。

そして、いち早く達成したのはこの項目。



「33. スポーツをする」

朝食から揚げ物も作っちゃうパラグアイ人。

高カロリー生活&バイク通勤のため、少し体型が気になり始めた今日この頃。

パラグアイを代表するスポーツといえばやはりサッカーですが、プレイしているのは男性ばかり。女性の姿は見えません。

街の人に聞き込みをしてみると、どうやら女性にはバレーボールがメジャーなようです。ということで早速場所を聞き、飛び入り参加してきました！！

試合は1チーム3人の計6人。

試合中のコミュニケーションはほぼ全て現地語（グアラニー語）です。

相手のサーブが放たれると、「オカペ！（アウトだ!）」などと皆口々に言い合います。



運動不足解消を目的に始めたバレーボールですが、試合や試合後のテレレを通して学ぶことばかりです。

現地語の勉強もですが、何よりパラグアイの女性達の情報網の広さにびっくり！

現在プロジェクトの酪農家たちと朝市を企画中なので、住民の生の意見はとても貴重。

（正確に言えば、既に2回開催した朝市は問題が重なり中断&試行錯誤中）

どんな物に需要があるのか、主婦目線でアイデアも提供してくれて・・・本当に有り難いです。

「39. 朝市を成功させる！」の項目が達成した時には、ぜひこのブログで報告したいと思います。